

泉小学校内の登下校の見守りサポート隊の方々をお迎えして、3年生を対象に防犯に関する講習会を開催しました。

昨今の新潟市や千葉県我孫子市などで起きた事件の例からサポート隊の皆さんは、見守りには限界があり、自分の身は自分で守ることの大切さを話してくれました。これから夏休みに入ります。皆が防犯の心構えを持つことが大切です。見守り隊の皆さん、有難うございました。

泉サポート隊 相川さんに聞きました。

Q：夏休み中特に気を付けて欲しいことは？

A：遊びに行くのに一人でふらふらしな。友達と一緒に行動することが大事。自分の身は自分で守れるようにすること。

Q：普段見守りをされていて気になることは？

A：交通ルールをきちんと守ること！自転車での急な飛び出しや、走行中の車の前に平気で出ていく子もいる。絶対にやめてほしい。おしゃべりに夢中にならず、周りをきちんと見てほしい。

Q：いざ不審者に遭遇しても、「助けて！」と言えるか？

A：普段から何かあったら、大きな声で助けを求めることができるようにしておくこと。



つかまった時に
防犯ブザーを
ひく練習



ランドセルを
放って
逃げる練習

不審者の見分けかた

はちみつじまん

はなしかけてくる

ちかづいてくる

みつめられる

ついてくる

じっと

まん 待っている

→すぐに逃げる

《狙われないために》

・一人で登下校しない

・道草をしない

・おしゃべりに夢中にならない

・先生、家の人の言うことをよく聞く

・家族以外の車に乗らない



育友会会長あいさつ



育友会会長

四十万谷 淳

朝のあいさつ運動で学校に行くと、入学式での約束通り一年生は元気いっぱい「おはようございます」を返してくれます。上級生のあいさつボランティアも、玄関で、時には校門近くまで出張して、元気なあいさつを届けてくれます。心が温かくなります。たった一言のあいさつですが、そこには相手を認め大切にしようという気持ちが含まれています。皆さんもお子様の見送りのついでに、ちょっと時間ができた時に、学校に足を運んで子どもたちと一緒にあいさつをしてみませんか？

「子どもは、存在を認められて育つと自分が好きになる」

子どもは、安心感を与えられて育つと自分や人を信じるようになる

子どもは、親しみに満ちた雰囲気の中で育つと生きることは楽しいことだと知る

子どもは、まわりから受け入れられて育つと世界中が愛であふれていることを知る

いずみっ子がそんな風に育って欲しいと願い、育友会もその一助となるよう取り組んで行きたいと思っておりますので、引き続き皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

*アメリカの家庭教育学者ドローシー・ロー・ノルト博士の言葉

育友会役員

会長 四十万谷 淳
副会長 秋田 和俊

大畑 友紀
酒井 亜紀子
澤田 大輔
田川 崇史
田辺 修深
橋本 里奈
村田 宗一郎
八百 貴代

庶務 池端 幸子

会計

石野 秀行
稲葉 由美子
岩井 敏幸
四ヶ浦 陽志
新名 美沙子
中出 健作
吉岡 紀子

編集後記

入学式に新グラウンドでの運動会、プール開きなど子どもたちの成長を改めて実感できる季節に、広報の編集を通じて、その姿を間近で見ることができ幸せでした。一学期も終わり、いよいよ夏休みです。安全や防犯への意識をしっかり持って楽しい夏休みを過ごしたいですね。

広報委員：山崎(奈)、牛島、戸田、丹羽、山崎(幸)、若林

古紙回収

回収日 6/17
合計 13t360kg
収益金 54,935円



年3回、泉小学校校区の町会毎に古新聞・古雑誌を収集し、回収収益金を泉小学校の充実に役立てます。地域ぐるみでリサイクルの輪が広がる環境づくりに努めていきます。ご協力をお願いします。次回の回収は、12月2日です。

ベルマーク活動

今年度も各クラスにベルマーク回収ポストを設置しています。公民館や近隣の郵便局、銀行などでも回収を行っていますので、皆様のご協力を願っています。

